

【月案】 2月・2歳児

今月の保育のポイント

- 一つ先の見通しをつけ、身の回りの簡単なことを自分でしようとする時期。子どもがやりやすいように、上着を入り口にかけておく、着る順番に服を並べておくなどの環境的な配慮をしておくことで、意欲を引き出せる。
- 自分でできたことを認められ、自信につながっていくよう、子どもの差を考慮して個別で「今日はここまでできたね」「いつも自分でやりだして偉いね」など認め、褒める言葉かけをしていく。
- 遊びでは手指の操作がより細かくできるようになり、より速く走ることを実感できるようになってくる。それと共にイメージの共有も育ってくるので、ごっこ遊びや表現遊びを保育士と楽しんでいき、みんなで同じことや感覚を共有する楽しさを味わう。

月のねらい

- はさみやのりなどの道具を使って、保育者と一緒に楽しく製作をする。
- 寒さに負けず、戸外で身体を動かして遊ぶ。
- 身近な自然に触れながら、健康に過ごす。
- 友達や保育者と関わりながら遊ぶ楽しさを味わう。
- 冬の感染症に留意しながら健康に過ごせるようにする。
- 簡単な身の回りのことに意欲的に取り組む。
- 保育者や友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ。
- 節分の歌、豆まき、行事食に興味を持つ。

週のねらい

その1

- 1週目：はさみやのりなどの道具を使って、保育者と一緒に楽しく製作をする（教育）
- 2週目：寒さに負けず、戸外で身体を動かして遊ぶ（教育）
- 3週目：身近な自然に触れながら、健康に過ごす（教育）
- 4週目：友達や保育者と関わりながら遊ぶ楽しさを味わう（教育）

その2

- 1週目：身の回りのことを進んで自分でしようとする（養護）
- 2週目：感染症予防のために湿度、温度を気を付けてこまめに換気をする（養護）
- 3週目：ごっこ遊びや表現遊びを保育者などと楽しむ（教育）
- 4週目：戸外で遊具などを使用して全身を使って遊ぶ（教育）

その3

- 1週目：保育者や友達と一緒に豆まきに参加し、雰囲気を楽しむ。（教育）
- 2週目：乾燥に留意しながら加湿、換気、水分補給等を行い、健康に過ごせるようにする。（養護）
- 3週目：保育者や友達と言葉でやりとりをすることを楽しむ。（教育）
- 4週目：ひな祭りに向け、様々な素材を使って製作することを楽しむ。（教育）

その4

- 1週目：衣服調節・交換を行いながら、健康に過ごせるようにする。（養護）
- 2週目：雪や氷等の自然を取り入れながら遊ぶことを楽しむ。（教育）
- 3週目：手先を使い、集中して遊ぶ。（教育）
- 4週目：異年齢児に興味を持ち、関わろうとする。（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- スプーンやフォークの正しい使い方を覚え、きちんと持とうとする子どももいるが、まだ定着せずグーで握ってスプーンを持っている子どももいる。
- トイレでの排泄に成功する回数が少しずつ増え、喜びを感じている子が増えてきている。
- 着替えや食事などでは自分でやろうとする姿が見え、一生懸命行なっているが、上手くできない時には泣いたり甘えたりする姿がある。
- 言葉を覚え、「先生」と保育者を呼んだり「いやだ」「おもしろいね」「もう一回やって」などの要求や感情を簡単な言葉で表せるようになってきている。
- 約束事を理解し始めており、友達に向かって「○○したらダメだよ」と教える場面が見られた。
- 赤ちゃんと積極的に触れ合おうとする。年上の子に対する興味があり、遊ぶ様子をじっと見つめる。
- 「ご飯なにかな」と食事を楽しみにする。
- うがいが出来るようになってきている。

教育（遊び）

- 友達が遊んでいる玩具に興味を示し、一緒に遊ぼうとする姿が見られる。
- ペンやのりなどを使って絵を描いたり製作したりすることを楽しんでいる。
- 身体の使い方が分かり、くぐる、ジャンプするなどが少しずつ上手にできるようになってきている。
- 落ち葉や木の枝などに興味を持ち、自然に触れながら遊ぶ姿がある。
- 「貸して」などの言葉が上手く表現ができず、友達が使っている玩具を勝手に使ったりとってしまったりし、トラブルになることが多々ある。
- 「私○○になる」と憧れの人や身近な人になってごっこ遊びをする。
- 正月遊びに興味を示し、「やってみる」と遊ぶ姿が見られた。
- ピースが少ないパズルに集中して取り組む。
- 聞き馴染みのある短い歌では、音程を合わせて歌おうとする。
- 色や形を認識してきており、折り紙では意欲的に遊ぶ様子が見られた。折る回数が少ない物であれば折れるようになってきた。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：衣類の着脱だけでなく、服を畳む、畳んだ服を引き出しやカバンにしまうなど様々なことを自分でしようとする。（健康）

環：服を畳む際には、子どもができる程度に整えておき、実際にたたんで見せながら真似できるようにやって見せる。

- **活：**トイレで排泄する感覚を覚え、行きたい時に行動や言葉で示そうとする。（健康）
環：排泄に成功する機会が増えたら男児は立って排尿する、女児は自分でトイレットペーパーを切ってみるなど次のステップへ挑戦できるように少しずつ促していく。
- **活：**豆まきに参加し、異年齢児と楽しい雰囲気の中で関わりを持つ。（人間関係・環境）
環：異年齢児と関わる際には、他クラスの職員と連携をとりながら未満児にも危険のないような環境を整える。
- **活：**親しみのある保育者や友達との関わりを喜び、安心できる環境の中で健康に過ごす。（人間関係・健康）
環：湿度や温度に配慮し、ゆったりと関わる。前日の遊びの続きを楽しめる等、子どもにとって心地よい環境を準備する。
- **活：**自分で身の回りのことができる喜びを味わい、進んでやってみようとする。（健康）
環：「自分でできたの？すごいね！」等、子どもがやる気になっているときは惜しまず褒める。服を順番に広げて置くなど、自分でやりやすい環境を用意する。
- **活：**自分で手を洗い、一人で出来た実感と清潔の快適さを味わい、うがいにも挑戦する。（健康）
環：手洗い時、綺麗になったであろうタイミングで次に進めるよう促したり、子どもが適切な時間と感覚を掴めるように援助を行う。うがいでは口に水を含んで声を出すところから始め、徐々に慣れていくようにする。
- **活：**室内ではゆったりと自分の好きな遊びを楽しみ、片づけを意欲的にしようとする。（健康・環境）
環：室内で落ち着くようにゆったりと関わり、好きな遊びができるよう、昨日からの続きがあれば環境を残しておく。「片付け上手だね、ありがとう」などと意欲を引き出す言葉をかける。
- **活：**友達や保育者と一緒に食事を楽しむ。（健康）
環：「手で食べない」「食べ終わっても立ち歩かない」など食事のマナーを一人ひとりの成長に合わせて丁寧に繰り返し伝えていく。
- **活：**節分の行事に興味を持ち、歌をうたったり、豆まきに参加したり、行事食を食べることを楽しむ。（健康・環境）
環：節分に向けて絵本や歌等を用いながら想像を膨らませておき、当日を迎えられるようにする。豆まきに楽しく参加出来るよう配慮しながら節分の雰囲気を味わえるようにする。
- **活：**異年齢児と触れ合うことを楽しみ、進級することに期待を持つ。（人間関係）
環：興味を持ち、年下の子に触れようとする姿を温かく見守り「可愛いね。嬉しそうだね」と気持ちに共感する。年上の子を見つめている時には保育者が仲立ちとなり、触れ合う喜びや進級に対する期待に繋げる。
- **活：**自分の気持ちや要求等を言葉で伝え、受け止めてもらうことで安定して過ごす。（健康）
環：伝えようとする姿を目線を合わせながら温かく受け止め、自分の気持ちが伝わる喜びや情緒の安定に繋げる。
- **活：**冬の寒さに負けず、体を動かして遊ぶことを楽しむ。（健康）
環：保育者が体を動かして遊ぶ姿を示し、興味や意欲に繋げる。「ポカポカしてきたね」と寒くても体を動かすと温かくなることを実感出来るような働きかけをする。
- **活：**スプーンやフォークを正しく持って食事をする。（健康）
環：スプーンやフォークの持ち方を丁寧に確認する。「フォークの持ち方合ってるね。」と認め、喜びや定着に繋げる。必要に応じて「どうやって持つのかな」と問いかけ、自分で気付けるような言葉かけをする。
- **活：**保育者の挨拶に対して挨拶を返し、挨拶を交わす心地よさを感じる。（人間関係・言葉）
環：保育者が笑顔で挨拶することで、挨拶をしやすい雰囲気作りをする。「元気な挨拶が聞けて嬉しい」と挨拶をすることの自信や心地よさに繋げる。

- **活**：友達と一緒に寝ることを喜び、安心した気持ちで眠る。（健康・人間関係）
環：一人ひとりがゆったりと眠れる空間を用意し、友達と一緒に寝る楽しさや安心感の中で心地よく眠ることが出来るようにする。
- **活**：遊具の使い方や順番等のルールを守りながら楽しく遊ぶ。（環境・人間関係）
環：「お約束守ってくれたからケガをしないで楽しく遊べるね」と決まりを守ることで生まれる楽しさがあることを伝え、守ろうとする気持ちを育てていく。

教育（遊び）

- **活**：保育者と一緒にごっこ遊びや表現遊びを楽しみ、同じイメージを持って遊ぶ楽しさを味わう。（人間関係・表現）
環：ごっこ遊びでは、「ケーキ屋さん」「ご飯を食べる」など子どもにとって身近な遊びを提案し、イメージしやすいように援助する。
- **活**：はさみやのりなどの道具の危険のない使い方を知り、保育者と一緒に製作を楽しむ。（環境）
環：はさみを使う際には怪我のないよう事前に約束事を伝え、使っているときにも必要に応じて危険のないよう繰り返し声をかけるようにする。
- **活**：遊びの中で保育者に仲立ちされながら友達に「貸して」「いいよ」など簡単な言葉で気持ちを表現する。（言葉）
環：遊びの中で「貸して」と子どもと一緒に言うことで、子どもがどういう時に言うのか分かるように援助していく。
- **活**：友達に興味を持ち、関わって遊ぼうとする。（人間関係）
環：担任同士連携を取りながら保育者が仲立ちをして、子ども同士の関わりがもてるようにしていく。
- **活**：リズム遊びや好きな歌を通して、様々な音の楽器を鳴らしたり歌ったりすることを楽しむ。（表現）
環：カスタネットやすず、タンバリンなど簡単な楽器を準備し、一人ひとりがいろんな楽器に触れられるようにする。また、実際に音を鳴らしてみたり音楽に合わせて自由に鳴らしたりできるようにする。
- **活**：会話ややり取りを楽しみ、簡単なルールのある遊びを一緒に楽しむ。（人間関係・表現）
環：何をすることが分かる簡単なルール遊びの道具を用意しておき、保育士が先頭で遊びを示す。参加しない子がいても認めて無理に参加をさせないようにする。
- **活**：不思議なことや知りたいことを言葉にして尋ね、知ろうとする。（人間関係・環境・言葉）
環：子どもたちの関心を発生、広げられるように、凶鑑を保育室に置いておく。子どもたちの質問には「どうなのかな？」「～だと思うけど、一緒に見てみようか」など、同じ目線で知るプロセスを辿ったり、想像をしながら楽しんで迎える。
- **活**：身近な物から刺激を受け、想像したことを言葉で友達や保育士と共有し、言葉や行動で想像の世界を広げながら共有して楽しむ。（人間関係・環境・言葉・表現）
環：例えば横たわる丸太を「あ、バイクだ！」と子どもが発想したとすれば、「もしかすると、空を飛ぶバイクかもしれない」など、保育者がイメージを膨らませるような声かけをし、楽しいごっこ遊びを展開する。子どもたちの会話からその木に名前をつけるなど、これからも楽しい実りある環境になるように進めていく。
- **活**：雪や氷、乾燥した葉っぱなど冬の自然に触れ、感触や冷たさなどを楽しむ。（表現・環境）
環：子どもが実際に雪や氷などに気付いて触れられるよう、準備したり声をかけたりして知らせていく。厚着すぎると動きにくくなってしまうため、防寒と動きやすさを確認しておく。
- **活**：巧技台や平均台、縄等の運動遊具で体の動きをコントロールしながら遊ぶことを楽しむ。（健康・環境）
環：バランスを取りながらのぼりおりをしたり、とまる、よける等自分の体をコントロールする遊びを提案し、出来たという喜びや達成感から体を動かす楽しさに繋げる。

- **活**：折り紙を折ることを楽しむ。（健康・環境）
環：様々な色を用意し、自分な好きな色で遊べるようにする。「三角お山作るよ」「バスの形みたいだね」と子どもが分かるような言葉かけをしながら、形が変化する面白さ、完成する喜びを味わえるよう関わる。
- **活**：雪や氷、枯葉、柑橘系の自然を取り入れ、見立て遊びをすることを楽しむ。（環境）
環：「ご飯みたいだね」「ジュースかな？」「お家みたいになったね」と身近な物に見立て言葉かけすることで、自然を取り入れて遊ぶことの楽しさを感じられるようにする。
- **活**：意味づけをしながらお絵かきすることを楽しむ。（環境・表現）
環：集中して描いている様子を見守り、描き終わりに「何を描いたのかな？」と問い、認めることで描く楽しさへ繋げる。
- **活**：絵本や紙芝居の絵や言葉のリズムや音等を楽しむ。（環境・言葉）
環：言葉を繰り返したり、声を出して笑う姿を受け止め、絵本の楽しさや言葉の面白さを味わえるようにするとともに、言葉の幅を広げられるよう関わる。
- **活**：簡単なパズルで集中して遊び、達成感を味わう。（環境）
環：ピースが少ないパズルを用意しておき、完成する達成感や喜びを味わえるようにすることで、集中力ややり遂げる力を育てるようにする。
- **活**：好きな遊びを1人でじっくりと遊ぶことを楽しむ。（人間関係）
環：1人で遊ぶ時間も大切にする。自分で考えながら遊びを膨らませたり、集中して遊ぶ中で自立心を育てていく。
- **活**：玩具の形や色、大きさ等に興味を持ち、発見を言葉にする。（環境・言葉）
環：同じ目線になり発見したことを受け止め、形や色、大きさ等の面白さや不思議さに繋げ、周りの環境に対する興味を高めていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 走り回ったり高いところに登りたい気持ちが強く、周りに関係なく行ってしまうことが多い時期。転倒しても危なくないよう、周囲の状況や環境に注意しながら遊びを見守る。
- 感染症が流行りやすいため、下痢や嘔吐、発熱があった際には職員で連携を取り、適切に対応して広めないように気をつける。また、保護者にも注意喚起を行っていく。
- 室内の環境を清潔に整え、健康に過ごせるようにする。
- 園庭や歩道の雪、氷柱等を確認し安全な環境を整える。
- ハサミを使用する際には少人数ずつ、落ち着いた環境の中で行う。
- 遊びの様子や顔色等を観察しながら、衣服交換を行い健康に過ごせるようにする。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- 鬼のお面製作／かわいい羊製作／スノードーム洋服製作

歌

- うぐいす／コンコンクシャンの うた／かぜさんだって

絵本

- ゆき／とりかえっこ／こぐまちゃんありがとう

手遊び

- トントントントンひげじいさん／いとまき／てんぐのはな

室内室外遊び

- PEテープで引っこ抜き／ストロー落とし／しっぽつき鬼ごっこ

行事

- 誕生日会
- 避難訓練
- 身体測定
- 節分（豆まき）（2月初旬）
- 建国記念日（2月11日）
- バレンタインデー（2月14日）
- 猫の日（2月22日）
- 天皇誕生日（2月23日）

食育

- 豆まきを通して豆に親しみ、豆を食べると身体を丈夫にしてくれることを知る。
- 食事のマナーを守り、楽しい雰囲気の中で意欲的に食事をする。
- 食べ慣れない料理や苦手な食材も友達や保育者の励ましで食べてみようとする。
- 食具を使って食べることに自信を持つ。

地域と家庭との連携

- 身の回りのことなど自分でできることが増えたことを伝え、褒めたり励ましたりしながら見守って貰えるようにする。
- 感染症の流行状況を知らせるとともに、家庭でも手洗いうがいができるようにしてもらう。
- 年上の子どもとかかわって遊んでいる様子を伝えたり、進級することへの取り組みを伝え安心して準備をしてもらえるようにする。
- 寒さからおねしょやおもらしをすることがあるため、予備を用意してもらう。
- 節分の様子を丁寧に伝え、保護者と共有する。
- 近隣の小学校や幼稚園、保育園で流行している感染症について把握しておく。

自己評価

- はさみの危険性を知り、気をつけて怪我なく使って製作を楽しめたか。
- 戸外での遊びを喜び、身体を動かして遊ぶことができたか。
- 氷や雪など冬の自然に触れ、興味を持つことができたか。
- 保育者や友達と楽しく関わることができたか。
- 衣類の着脱や排泄など、子ども自身が意欲的に行うことができたか。
- 節分の行事に興味を持つことができたか。
- 子どもが身の回りのことにじっくりと取り組めるような時間や空間を確保したか。
- 異年齢児と触れ合う楽しさを味わっていたか。

- 感染症に留意しながら、室内の環境を整えたり、体調を把握できていたか。
- トイレで排泄する喜びを感じ、意欲的な姿が見られていたか。